



# 日高山脈博物館だより

## HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

日高山脈博物館は「ジオ・ミュージアム」  
道内唯一の地質と岩石の登録博物館！

通算 第68号

2021.6.

不定期  
学芸員  
コラム

## 岩石薄片のきれいな色はどうして見えるのか？

実は簡単な方法で、岩石薄片の作成同様、ホームセンターで買えるもので実験できます。

日高山脈博物館だよりでは最近、岩石薄片の偏光顕微鏡写真をよく掲載していますが、岩石はあのスタンドグラスのようなカラフルなものではないだろうと、石を見る方なら思われるでしょう。すごく簡単な話をしますと、偏光顕微鏡という、2枚の偏光板が光を通さない方向にセットされて入っている顕微鏡で、岩石薄片を観察するからあのような色に見えるのです。

写真1では、学芸員が作成した岩石薄片を天井の蛍光灯にかざして、光を通った状態で見ているものです。全くカラフルでも何でもありません。次に、写真2のように、光を通さない方向でセットした2枚の偏光板で岩石薄片をはさんで、蛍光灯にかざすとどうでしょう。透明だった部分や模様のような部分が、さまざまな色でカラフルに見えていますね。さらに、倍率の高いルーペ（今回は20倍）などでのぞいてみると、写真3のような像が見えます。これは岩石薄片の偏光顕微鏡写真といえるようなものですね。

今回はからくりの一端を簡単な実験で説明しました。あのカラフルな写真には、偏光板が重要な役割を果たしているのですね。



## 日高山脈博物館紀要「日高山脈研究」第3号発行しました。

今号は、博物館学芸員の、石の名前にまつわる考え方などを記載した論文を掲載。

日高山脈博物館紀要「日高山脈研究」は、日高山脈博物館が発行する、電子媒体のオープンアクセス研究紀要です。2018（平成30）年に創刊したこの研究紀要、このたび、第3号を発行しました。

第3号には、以前、日高山脈博物館だより No.65 や No.66 でも紹介した、依頼を受けて実施した「麦飯石」の岩石学的調査の詳細な内容と結果、その結果からも考えられる、岩石学における「岩石名」と一般的な「石の名前」とについてのひとつの考え方を、「アオトラ」や「日高石」なども例にして報告した論文を掲載しました。ぜひ当館 HP よりアクセスいただき、ご一読くださいますと幸いです。

なお、論文の内容の解説などにつきましては、著者である当館学芸員が対応しますので、よろしくお願いたします。



日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用ください。…⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/site/hmc/>) の新着情報からどうぞ。